【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-345527(P2003-345527A)
【公開日】平成15年12月5日(2003.12.5)
【出願番号】特願2002-152762(P2002-152762)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　3/06
　Ｇ１１Ｂ　20/10
　Ｇ１１Ｂ　33/12
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　3/06　３０４Ｊ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　Ａ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｄ
　Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｆ
　Ｇ１１Ｂ　33/12　３１３Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月31日(2005.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置であって、
　前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御手段と、
　前記収容機構の動作状態を判定する判定手段と、
　前記判定手段の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御手段と
　を備えることを特徴とするカートリッジマウント装置。
【請求項２】
　前記判定手段の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジを収容中あるいは排出中である場合は、前記制御手段は、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１記憶媒体へアクセス不可とし、前記第２記憶媒体へアクセス可能にする
　ことを特徴とする請求項１に記載のカートリッジマウント装置。
【請求項３】
　前記判定手段の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジの収容が完了後、該可搬型記憶カートリッジの排出が指示される場合は、前記制御手段は、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を前記第２記憶媒体へコピーする
ことを特徴とする請求項１に記載のカートリッジマウント装置。
【請求項４】
　前記第１記憶媒体は磁気記憶媒体であり、前記第２記憶媒体は半導体記憶媒体である
ことを特徴とする請求項１に記載のカートリッジマウント装置。
【請求項５】

前記判定手段により判定された動作状態を記憶する記憶手段を更に有し、
前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された動作状態に基づき制御する
ことを特徴とする請求項１に記載のカートリッジマウント装置。
【請求項６】
情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置の制御方法であって、
前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御工程と、
前記収容機構の動作状態を判定する判定工程と、
前記判定工程の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御工程と
を備えることを特徴とするカートリッジマウント装置の制御方法。
【請求項７】
前記判定工程の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジを収容中あるいは排出中である場合は、前記制御工程は、前記可搬型記憶カートリッジ内の前記第１記憶媒体へアクセス不可とし、前記第２記憶媒体へアクセス可能にする
ことを特徴とする請求項６に記載のカートリッジマウント装置の制御方法。
【請求項８】
前記判定工程の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジの収容が完了後、該可搬型記憶カートリッジの排出が指示される場合は、前記制御工程は、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を前記第２記憶媒体へコピーする
ことを特徴とする請求項６に記載のカートリッジマウント装置の制御方法。
【請求項９】
前記第１記憶媒体は磁気記憶媒体であり、前記第２記憶媒体は半導体記憶媒体である
ことを特徴とする請求項６に記載のカートリッジマウント装置の制御方法。
【請求項１０】
前記判定工程により判定された動作状態を記憶手段に記憶する記憶工程を更に有し、
前記制御工程は、前記記憶手段に記憶された動作状態に基づき制御する
ことを特徴とする請求項６に記載のカートリッジマウント装置の制御方法。
【請求項１１】
情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置の制御をコンピュータに機能させるためのプログラムであって、
前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御工程のプログラムコードと、
前記収容機構の動作状態を判定する判定工程のプログラムコードと、
前記判定工程の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御工程のプログラムコードと
を備えることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
【課題を解決するための手段】
上記の目的を達成するための本発明によるカートリッジマウント装置は以下の構成を備える。即ち、

情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置であって、
前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御手段と、
前記収容機構の動作状態を判定する判定手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御手段と
を備える。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、好ましくは、前記判定手段の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジを収容中あるいは排出中である場合は、前記制御手段は、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１記憶媒体へアクセス不可とし、前記第２記憶媒体へアクセス可能にする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
また、好ましくは、前記判定手段の判定の結果、前記収容機構が前記可搬型記憶カートリッジの収容が完了後、該可搬型記憶カートリッジの排出が指示される場合は、前記制御手段は、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を前記第２記憶媒体へコピーする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、好ましくは、前記判定手段により判定された動作状態を記憶する記憶手段を更に有し、
前記制御手段は、前記記憶手段に記憶された動作状態に基づき制御する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
上記の目的を達成するための本発明によるカートリッジマウント装置の制御方法は以下の構成を備える。即ち、
情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置の制御方法であって、
前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御工程と、

前記収容機構の動作状態を判定する判定工程と、
前記判定工程の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御工程と
を備える。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、
情報が記憶される第１記憶媒体と、前記第１記憶媒体に記憶された情報の少なくとも一部を記憶する第２記憶媒体を内蔵する可搬型記憶カートリッジを収容する収容機構を有するカートリッジマウント装置の制御をコンピュータに機能させるためのプログラムであって、
前記可搬型記憶カートリッジを当該装置内部の所定位置に収容する、あるい前記所定位置から排出するように前記収容機構を駆動制御する駆動制御工程のプログラムコードと、
前記収容機構の動作状態を判定する判定工程のプログラムコードと、
前記判定工程の判定結果に基づいて、前記可搬型記憶カートリッジ内の第１及び第２記憶媒体へのアクセスを制御する制御工程のプログラムコードと
を備える。